

承認番号	分類	申請年	研究課題名もしくは医療行為の内容
258	臨床研究	2023年	「ひろしま脳卒中地域連携パス」を使用した県内脳卒中患者の急性期・回復期・生活期における病状や生活の状態等の分析及び研究
259	臨床研究	2023年	転移性脳腫瘍局所再発に対するガンマナイフによるマスク分割照射の短期の評価
260	臨床研究	2023年	医療機関における脳卒中患者の就労支援を通じた障害者雇用の実証研究
261	臨床研究	2023年	新型コロナウイルス院内クラスター時における病原体検査の感度および隔離期間延長に関連する因子の検討
262	臨床研究	2023年	生化学免疫統合分析装置の報告時間に影響を与える装置機構-Atellica Solutionによる結果報告時間の短縮-
263	適用外使用	2023年	進行性多巣性白質脳症に対するメフロキン、ミルタザピン併用療法について
264	臨床倫理	2023年	透析に関する意思決定について
265	臨床研究	2023年	nivolumab薬価収載前後でのガンマナイフ治療後の肺腺癌新規脳転移の評価
266	臨床研究	2023年	nivolumab薬価収載前後でのガンマナイフ治療後の肺腺癌新規脳転移の比較
267	臨床研究	2023年	黄色ブドウ球菌菌血症(SAB, Staphylococcus aureus bacteremia)における臨床的・微生物学的特徴、予後、診療の質指標の後ろ向き検討
268	臨床研究	2023年	Changes of ventral spinal longitudinal extradural CSF collection after large-volume epidural blood patch in patients with spinal CSF leak
269	臨床研究	2023年	頭蓋外転移がない転移性脳腫瘍に対するガンマナイフ治療後の生存期間の延長
270	臨床研究	2023年	Prediction of oral intake at discharge in patients with stroke by assessment of swallowing function within 24 hours admission:a retrospective cohort study
272	臨床研究	2023年	肺癌脳転移患者のガンマナイフ治療後の延びる生存期間-nivolumab適応前後の評価-
273	臨床研究	2023年	てんかん発作時のarterial spin labeling(ASL)画像について:非重積例を含む検討
274	臨床研究	2023年	予定全麻手術患者に対する歯科介入率の向上を目指して
275	臨床研究	2023年	脳神経センター大田記念病院におけるVoxel based morphometry (VBM)を用いたてんかん患者の皮質形成異常検出法確立に関する研究
276	臨床研究	2023年	Palliative Gamma Knife Radiosurgery for a Small Part of a Large Vestibular Schwannoma in an Elderly Patient: a Case Report
277	適用外使用	2023年	神経変性疾患の流涎に対する院内製剤5%スコポラミン軟膏の使用
278	臨床研究	2023年	Case review for mechanical thrombectomy involving a cerebral aneurysm in the target vessel
279	適用外使用	2023年	脳卒中急性期の流涎症に対する院内製剤5%スコポラミン軟膏の使用
280	臨床研究	2023年	脳脊髄液漏出症の治療後における脊髄腹側硬膜外髄液貯留の変化

承認番号	分類	申請年	研究課題名もしくは医療行為の内容
281	臨床研究	2023年	運動ニューロン疾患に対するサイボーグ型ロボットスーツHAL(Hybrid Assisted Limb)のリハビリテーションの有用性の検討
282	臨床研究	2023年	在宅人工呼吸器を使用する難病患者における災害対策の状況調査
283	臨床研究	2023年	頸動脈エコーでの椎骨動脈起始部狭窄の評価手法の確立
284	その他	2023年	輸血拒否に関するガイドライン
285	臨床研究	2023年	急性期脳波の異常自動検出プログラムの開発
286	臨床研究	2023年	Lateralized periodic dischargeとarterial spin labeling画像との関連に関する検討
287	適用外使用	2023年	対麻痺患者に対するロボットスーツHALの使用
292	臨床研究	2023年	脳梗塞1年後の無症候性病変の検討